

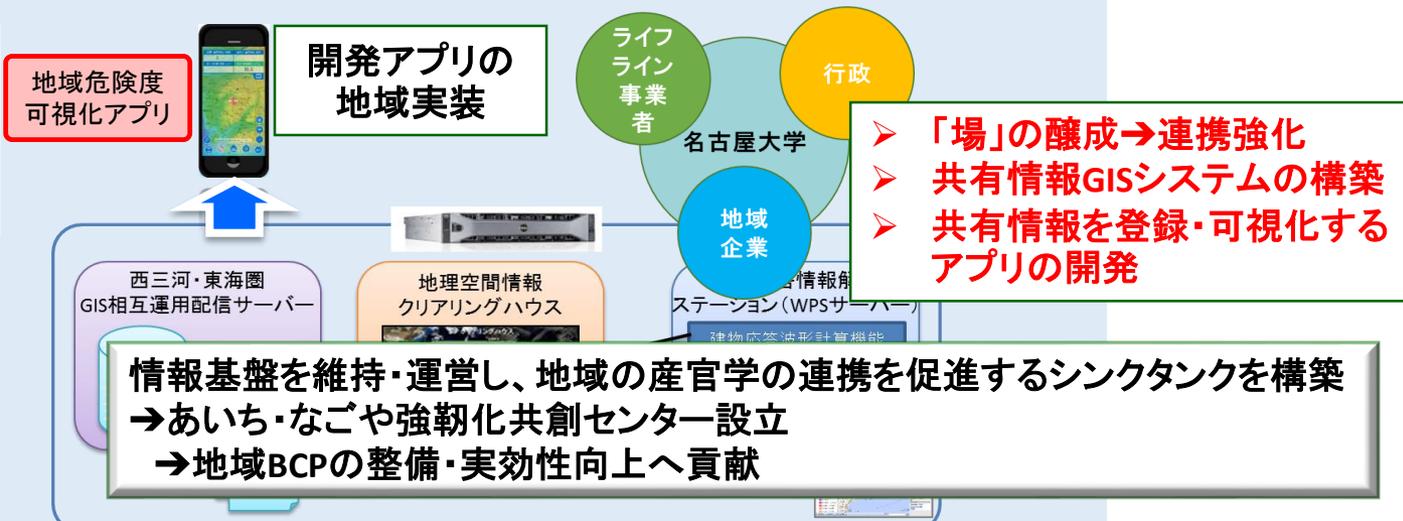
『地域協働と情報連携による地域密着型減災シンクタンク構想（名古屋大学）』
 とその他地域への展開『減災地域協働モデルの社会実装と検証（静岡大学）』

地域協働と情報連携による地域密着型減災シンクタンク構想：名古屋大学

愛知県碧南市の企業群（臨海工業地帯に工場を有するトヨタ自動車、ジクシス、アイシン精機、豊田自動織機、ジェイテクト、中部電力など）と行政の連携をもとに



工場周辺の
 情報共有システム・アプリを活用した行政・地域企業の災害対応力向上



- 「場」の醸成→連携強化
- 共有情報GISシステムの構築
- 共有情報を登録・可視化するアプリの開発

西三河地域で深化させた地域連携の取り組みを他地域へ

整備したシステムを活用して道路をテーマに産官学連携のワークショップを実施



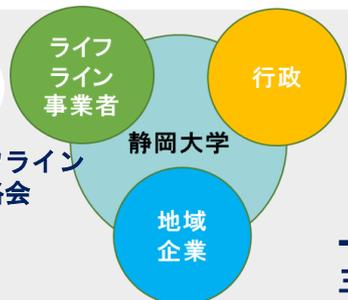
西三河地域の10の基礎自治体の防災、道路維持担当部署、及び地域の主要企業（中部電力、東邦ガス、トヨタ自動車、アイシン、デンソー、豊田自動織機）の防災、物流担当部署、愛知県、中部地方整備局が参加したWS

西三河地域で展開した地域連携促進の取り組みを静岡へ



ワークショップ
 静岡県、静岡市など
 中部電力、東京電力、静岡ガス、水道協会、NEXCO中日本、JR東海、NTTdocomoなど

共有情報基盤を整備し、そのシステムを活用し、行政間連携にとどまらず、静岡県ライフライン防災連絡会等との連携を図ることで災害対応の実効性・効率性向上へ



静岡県危機管理部
 地震防災センター
 静岡市
 危機管理総室

→プロジェクト後、三遠南信へ

減災地域協働モデルの社会実装と検証：静岡大学

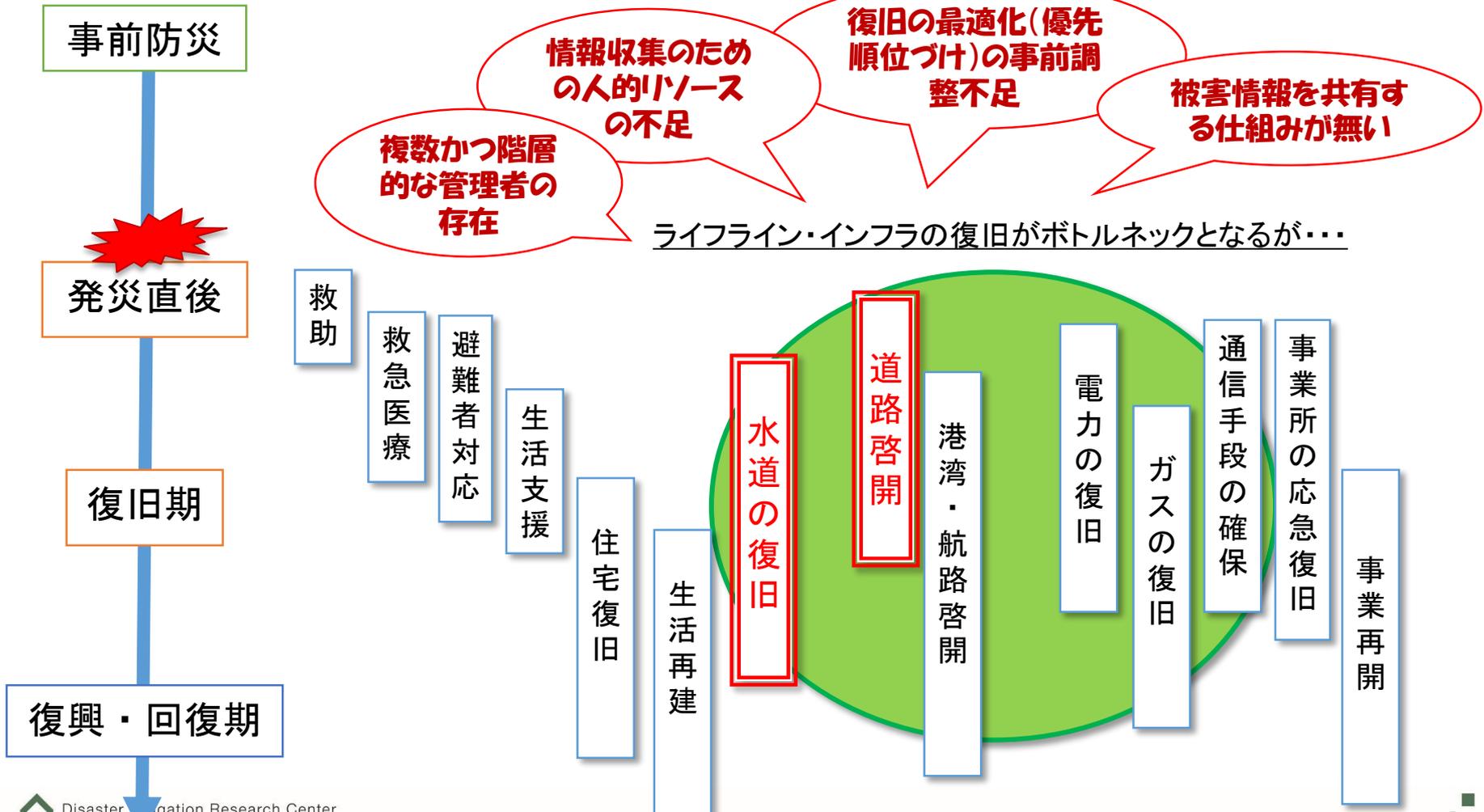
研究の背景：広域・大規模災害発生時の課題

市民

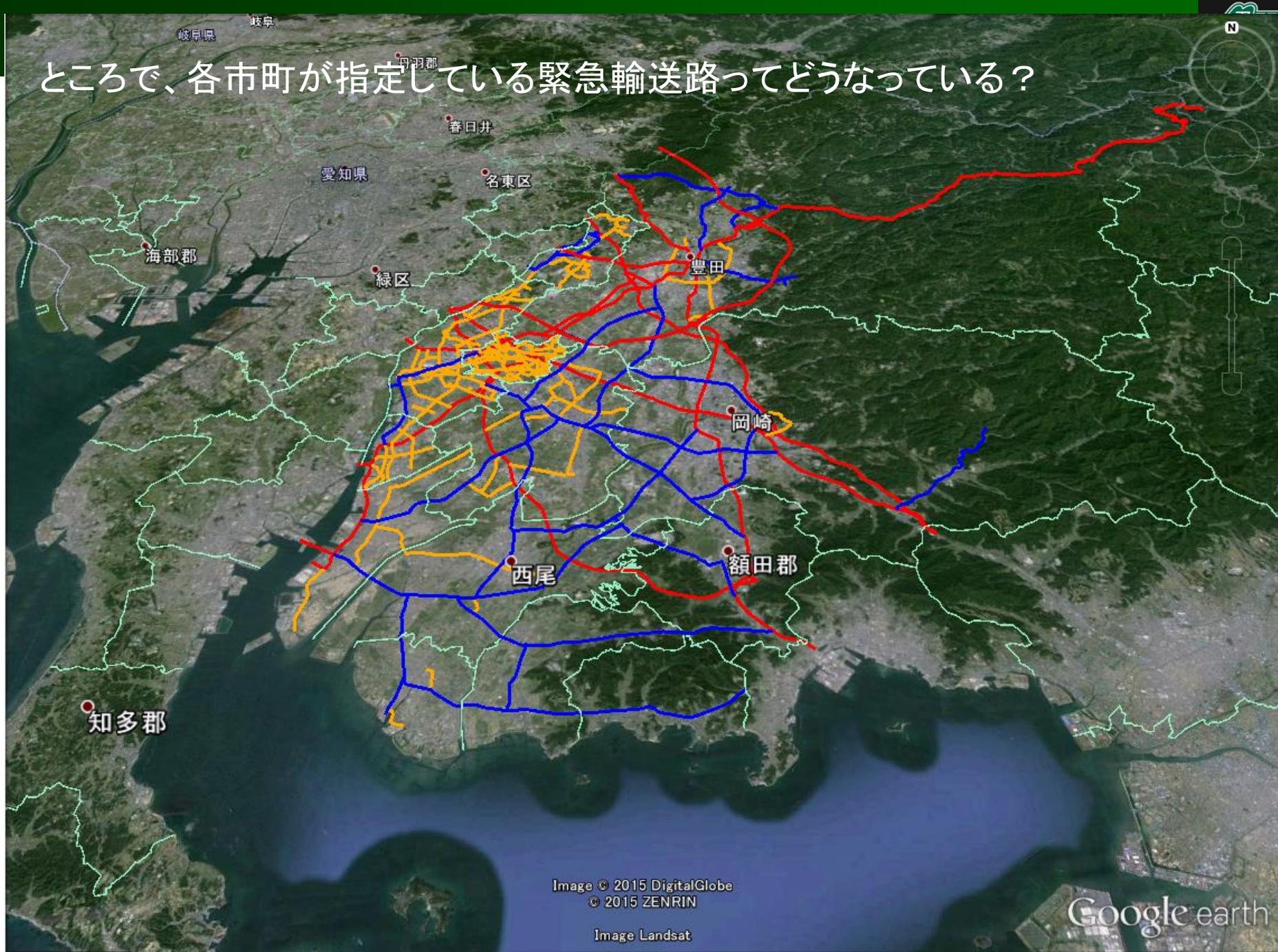
基礎自治体

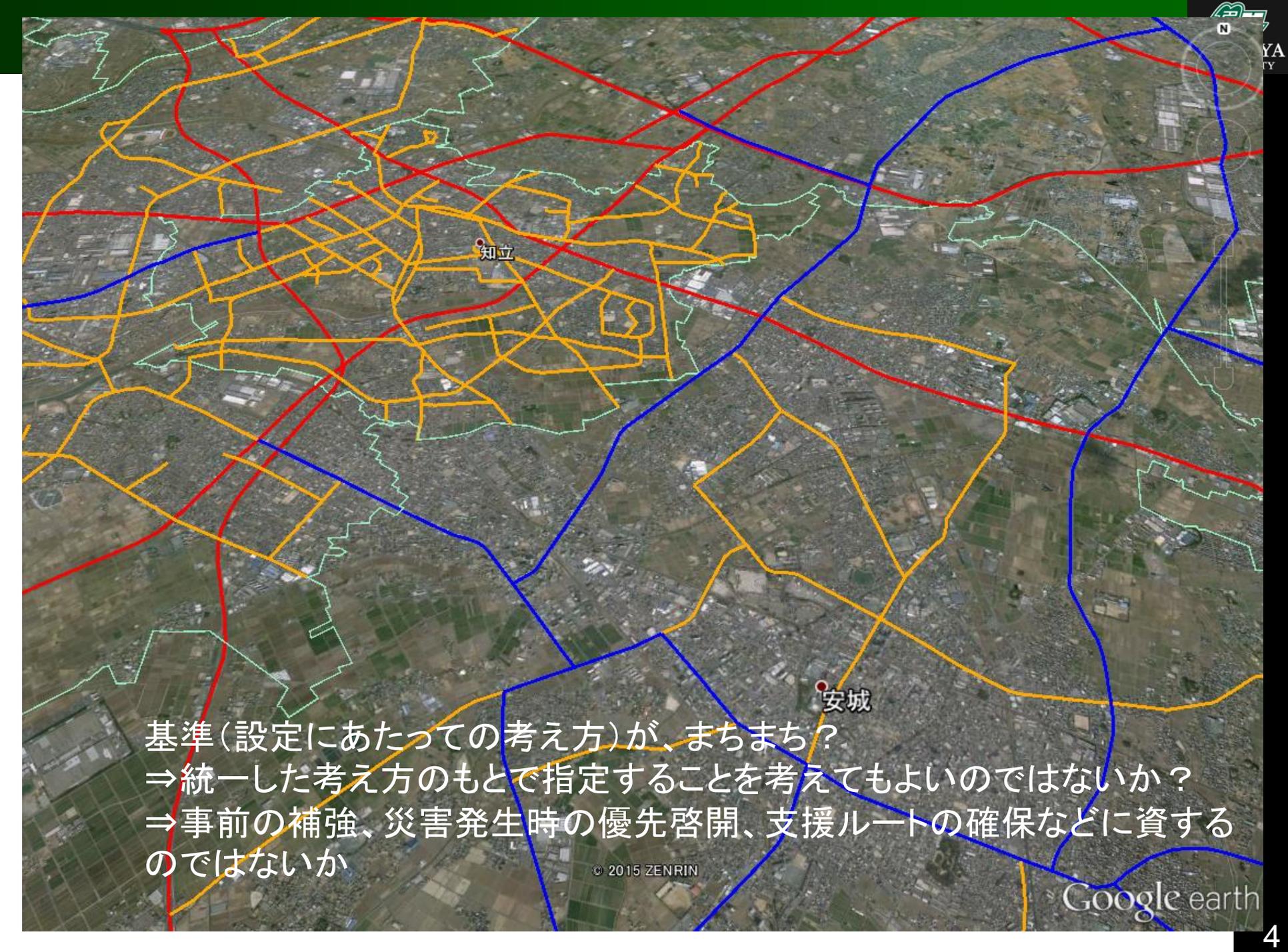
(県・国)

企業



ところで、各市町が指定している緊急輸送路ってどうなっている？





基準(設定にあたっての考え方)が、まちまち？
⇒統一した考え方のもとで指定することを考えてもよいのではないか？
⇒事前の補強、災害発生時の優先啓開、支援ルート確保などに資する
のではないか

© 2015 ZENRIN

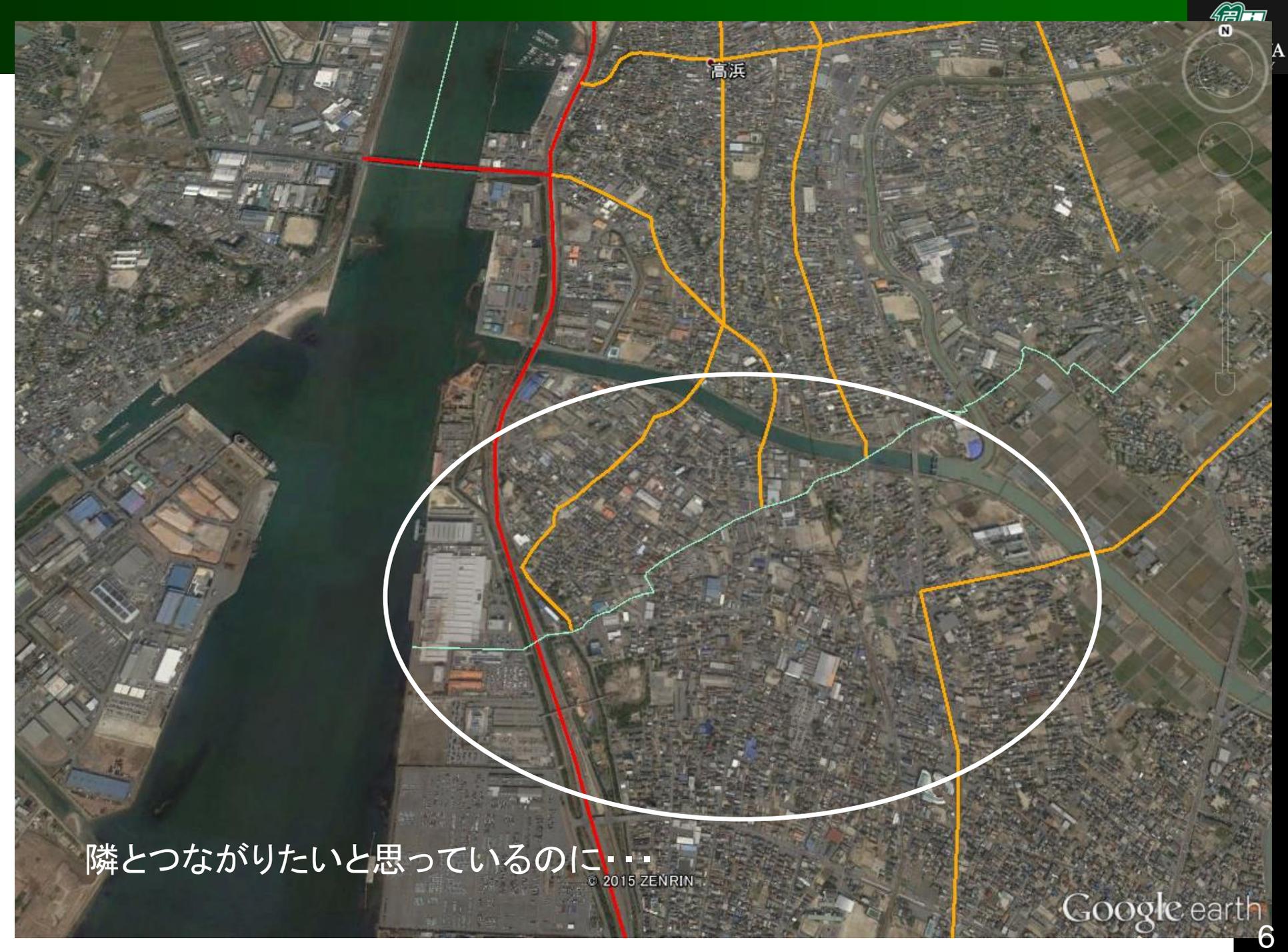
Google earth



それぞれが、独自に考えていることの弊害(?)
⇒地域内で意思疎通を図ることにより、災害対応力を高めることに

© 2015 ZENRIN

Google earth



高浜

隣とつながりたいと思っているのに...

© 2015 ZENRIN

Google earth

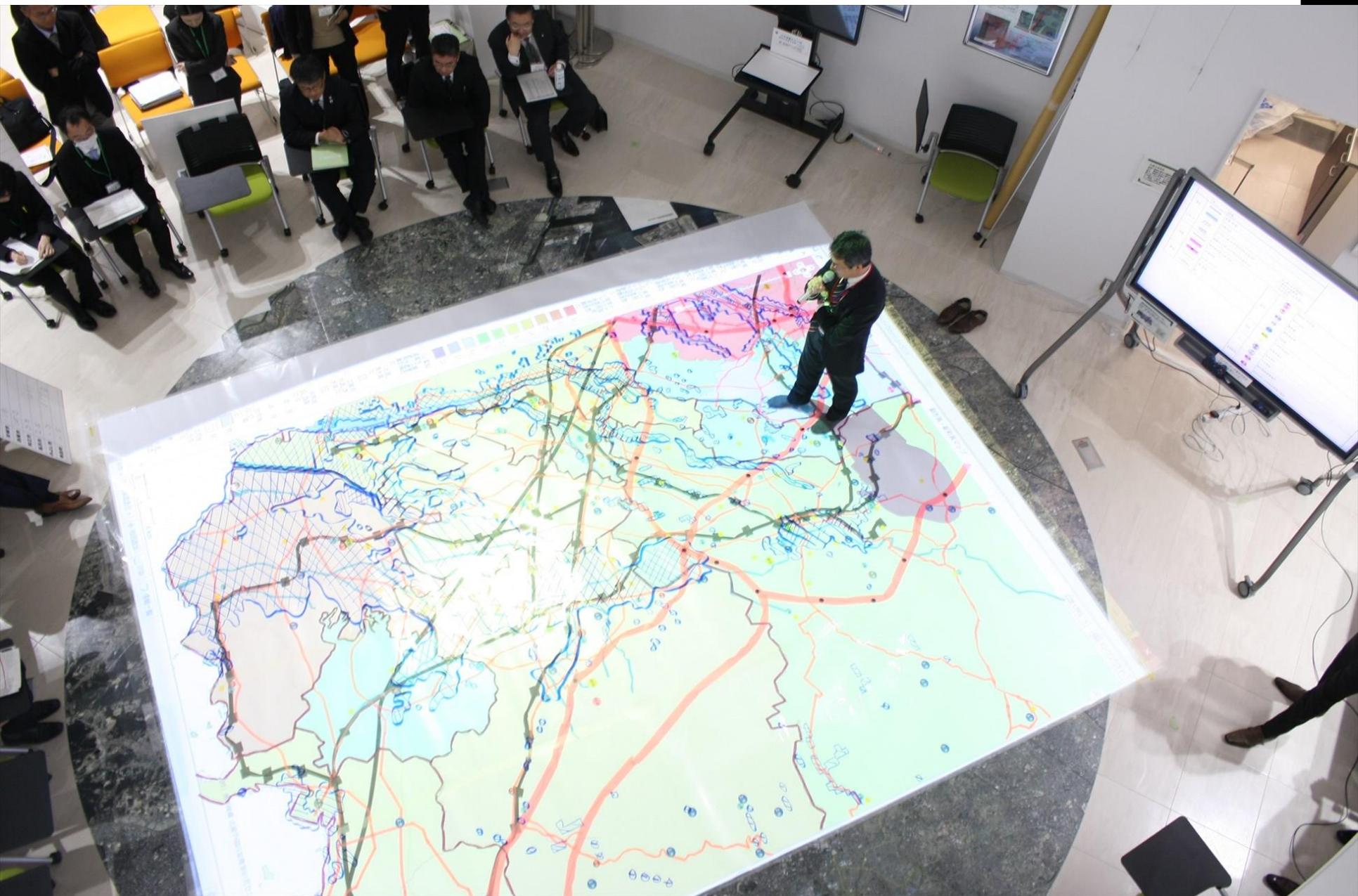
もう少し南側に幹線道路があるから、
う回することになるが、そこを使えば？
との指摘。

⇒でも、そこは、隣の市の液状化危険
度の高いところへつながっている

地域を支える工場：西に
向かい南北に走る幹線道
路へつながる道路が重要
と認識。でもその道路は、
3つの市をまたいでいる！

自分たちの管轄エリアだけを見ていればよいという
わけではない。どうすれば、地域としてよりよい対応
となるのかを事前に関係者間で話し合っておくこと
が大切。

2016年1月8日、西三河の副市長・副町長に参加いただきワークショップを実施



- 広域の視点の重要性への気づき
 - 連携の必要性の再認識
- ↓
- 連携、協働を促進するためのよいきっかけに
 - 具体的な課題：

- 緊急輸送路や優先的に啓開すべき道路の検討
- 水に関する検討
- 広域の応受援計画策定
 - ・ 広域防災訓練

道路や水の問題は、行政間の
広域応受援だけでなく、
産業復興の面からも重要！

西三河の道路をテーマに、各市・町の防災と道路の部長、地域企業の総務部長によるワークショップ（2017年1月20日）



参加したのは、西三河の10の自治体の防災担当部署の部長、道路管理部署の部長、それに中部電力、東邦ガス、トヨタ自動車、アイシン精機、デンソー、豊田自動織機の総務部長など





防災部署と道路管理部署、企業のそれぞれが、相互にどんなことについて協力してほしいか、どんなことから支援ができるかについて、意見・情報交換

碧南市と衣浦港に面した工業地帯の企業の方々による情報登録実験を実施

地域危険度可視化アプリ (...)

133.6.118.81/map/map/?cid=1&gid=0&mid=76

検索

URL ログイン

凡例一覧

衣浦三水会からは16社の方が、事前情報登録に参加。
碧南市役所からは、防災課と土木課が参加。

どこが/何が、気になるですか？

行政がすべてのエリアを調査するのではなく、企業などとエリアを分担して調査することになれば、効率よく状況把握が可能に(?)

2画面表示 地図追加 印刷 情報一覧

住所: 移動

137.03571, 34.87513
地図データ ©2016 ZENRIN 利用規約

92

・道路の通行可能性(帰宅困難、非常参集、事業再開)が共通項



工場周辺の危険個所や通行可能箇所について調査結果をマッシュアップ

情報登録に参加くださった企業の声

衣浦三水会からは16社の方が、事前情報登録に参加。
碧南市役所からは、防災課と土木課が参加。

各社とも、知多半島側から
通勤している人も多いため、
海底トンネルの状況が気
になるはず。なので、まっ
さきにその状況を確認し、
情報提供します。

北へ向かう道路が使える
のかどうか、知る術がな
かったけれど、その情報が
もらえるのなら、ありが
たい。この仕組みが、実現
することに期待しています。

道路がどんなふうになっ
てしまうのか、イメージがも
てない。なので、実際の状況
を写真などで確認できる仕
組みができればよいと思う。

平日昼間に地震が起こった
とき、職員を帰宅させてよい
のかどうかの判断に困ると
思っていた。早いタイミング
で状況が分かるようになれば、
たいへんありがたい。

どちらへ向かうにしても、橋
が通れるのかどうか気にな
るので、うちはバイク部隊
を出して橋の状況を確認に
いかせます。その情報をみ
なさんに提供しますよ。

